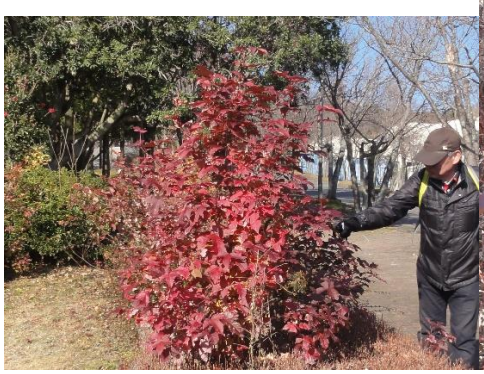
フウ（台湾から中国南部原産）



セイタカアワダチソウ

泡立ちこぼれる無数の綿毛、小さくて丈夫でよく飛ぶ痩果、果穂はビールの泡のよう。

侵略的外来種（北アメリカ原産）、凄まじい繁殖力

アベリア（ハネツクバネウツギ）

萼片は２から５個で様々。花が多く集まり、ツクバネウツギやコツクバネウツギとは趣が違い、羽根つきの羽の感じはしない。

ドウダンツツジ

綺麗な水滴型の頂芽。

枝より太い頂芽、葉痕の形、維管束痕１個はツツジ属共通。

フヨウ

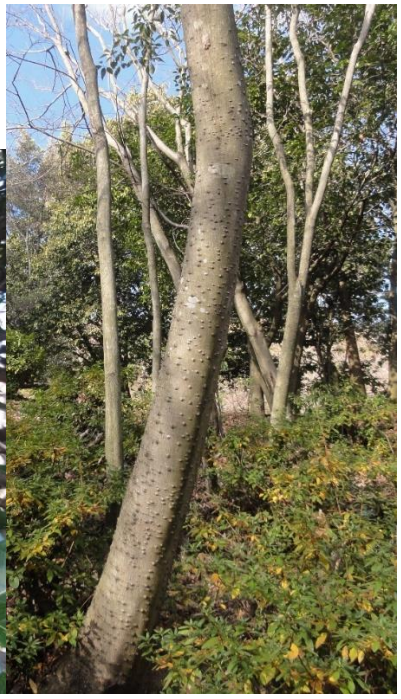
毛むくじゃらの実は、熟すと裂けて毛虫みたいな種をこぼす。

ムクゲの種は毛が一列に並んだモヒカン風、フヨウは毛が背面全体を包んだパンク風

ヒイラギ

ヒイラギは、ひいらぐ（痛む）が名の由来。若い葉は縁がトゲトゲで痛いが、木の生長とともに棘が短い葉か全く無い葉になる。防御の必要がなくなるからで、老化ではない。

カラスザンショウの幹の棘も同じ



萌芽

樹種は不明。樹皮の内側から新しき幹が育っている。それより内側からは萌芽しない。萌芽していないところでも外側は中心側より材が軟らかいから風化が進んでいる。早材、晩材についてもしかり。

同じような高さから幹が分かれているのはなぜだろう。

こぶ病

こぶは、病原菌が細胞を異常に繁殖させるためできる。病原は２種類あり、細菌によるものはフジ、ヤマモモ、サクラ、レンギョウなどに、糸状菌によるものはマツに発生する。糸状菌の場合は、菌がマツとブナ科樹木の間を行き来して生活している。

ヒマヤラシーダ

地面に落ちている毛虫みたいななのは何？ヒマヤラシーダの雄花です。

シーダといっても、スギではなくマツの仲間です。

ジンチョウゲと**アセビ**

花芽　２月ごろ開花かな。

イチョウ

短枝ってなんのためできるの？展葉は必ず枝の伸展を伴う。ある程度樹木が大きくなる樹体をあまり大きくせずに必要量の葉をつけることから短枝が多くなる。

枝の痕から新しい枝が生えてきた？

ツガ

小さく種鱗の数も少ない球果

モッコク

色んな樹皮

クスノキ

ナワシログミ

花は 10～11 月頃咲き、5～ 6 月頃赤く熟す。

葉裏は、銀色の鱗状毛が密生し、褐色の鱗状毛がまじる。

地衣類とコケ植物（蘚類）とシダ植物（ノキシノブ黄色枠内）の集合住宅

地衣は菌類と藻類の共同住宅

シラチャウメノキゴケ（左）と**ナミガタウメノキゴケ**（右）

このあたりに植えられた桜の品種名

ヤブツバキ

「きぼうのはし」のたもとのヤブツバキは何歳かな？

昭和 57 年 10 月 16 日に記念植樹されたもの。４０歳にはなるかな。あまり大きくなってない。

ケーブルに噛みついています。何の木？

?